

日付	令和4年3月25日
担当所属	山梨県立図書館
	副館長 河手由美香

## 令和3年度 年代別ブックリスト 「いいね！の本だな」小学校1・2年生編の発行について

### 1 概要

山梨県立図書館では、子どもの読書活動の推進のため、年代別のおすすめブックリスト「いいね！の本だな」を作成しています。令和3年度は、小学校1・2年生編を作成しました。おすすめの本50冊を紹介しています。小学校1・2年生が、自分で本を選ぶときに参考になるブックリストです。

### 2 発行形態、発行日、配布場所

- (1) 発行形態 A4判、カラー、8ページ
- (2) 発行日 令和4年3月20日
- (3) 配布場所 山梨県立図書館内で無料配布しているほか、ホームページにてPDFデータを公開しています。

※PDFデータ掲載ページ（トップページ>山梨県子ども読書支援センター>発行物）

[https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo\\_shien/shien\\_hakkou.html](https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/shien_hakkou.html)

学校（小・中・高・特別支援）でのプリントアウト・コピー・無料配布が可能です。

### 問い合わせ先

山梨県立図書館 サービス課 子ども読書推進担当 司書 有野佐恵

TEL 055-255-1040 FAX 055-255-1042

しょうがっこう  
～小学校1・2年生編～  
ねんせいへん

いいね!

ほん  
の本だな



やまなしけんりつとしょかん  
山梨県立図書館  
YAMANASHI PREFECTURAL LIBRARY

### 『あおい目のこねこ』

エゴン・マチーセン/さく・え せたていじ/やく  
福音館書店 1965年



ものがたりの本

青い目のこねこが、ねずみのくにをさがしに出かけました。ねずみのくにまでのみちには、いじわるなねこやこわい犬がいます。たいへんなことがあっても、こねこはそのたびに立ちなおって、まえへすすんでいきます。

### 『アリからみると』

桑原隆一/文 栗林慧/写真  
福音館書店 2004年

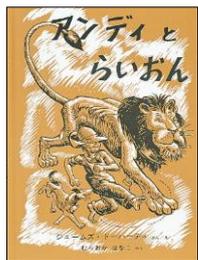


かがくの本

わたしたちにんげんとくらべると、アリはとっても小さいですね。アリの目からは、ほかの虫や草花がどれくらいの大きさに見えるでしょうか。アリになったつもりで、のはらに出てながめてみましょう。

### 『アンディとらいおん』

ジェームズ・ドーハーティ/ぶんとえ  
むらおかはなこ/やく 福音館書店 1961年

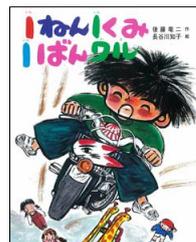


ものがたりの本

アンディは、としよかんでかりたライオンの本にむちゅうです。おじいさんからライオンがりのはなしもききました。ライオンであたまがいっぱいのアンディは、あさ学校へいくみちでへんなものを見つけました。

### 『1ねん1くみ1ばんワル』

後藤竜二/作 長谷川知子/絵  
ポプラ社 1984年

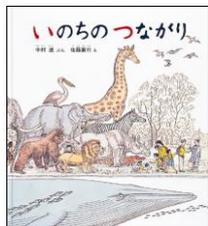


ものがたりの本

ぼくのクラスのくろさわくんは、じてんしゃでぼくたちをおいかけてまわしたり、べんきょう中にかみひこうきをとぼしたり、テストのじかんなのにけしゴムであそんでいたり…1ねん1くみで1ばんげんきで、いたずらっこで、ワルです。

### 『いのちのつながり』

中村運/ぶん 佐藤直行/え  
福音館書店 1991年



かがくの本

ちきゅうには、にんげんや、ぞうやきりん、草花や木など、いろいろなしゅるいのいきものがいますね。いきもののかをしらべてみると、みんな「いでんし」でつながっていることがわかります。

### 『うさぎのくれたバレエシューズ』

安房直子/文 南塚直子/絵  
小峰書店 1989年



ものがたりの本

バレエがじょうずになりたい女の子のところに、ピンクいろのバレエシューズがとどきました。はいてみたところ、からだがるなくなったようです。山のほうへいくと、大きなさくらの木の中に、うさぎがはたらくつやがありました。

### 『うまれたよ！セミ』

新開孝/写真 小杉みのり/構成・文  
岩崎書店 2013年



かがくの本

セミは、なつに、たまごを木のうに生みつけます。たまごからようちゅうがかえるのは、つぎの年になってからです。そのあとゆっくり大きくなります。せいちゅう（おとな）になるまで、どんなふうにかわっていくでしょうか。

### 『エルマーのぼうけん』

ルース・スタイルス・ガネット/さく  
ルース・クリスマン・ガネット/え  
わたなべしげお/やく 福音館書店 2010年



ものがたりの本

エルマーは、としよりののらねこから、どうぶつじまでつかまり、はたらかされている子どものりゅうのことをききました。エルマーは、りゅうをすくいだすため、ふねにかくれてしまに出かけていきました。

### 『おさかないちば』

加藤休三/作 講談社 2013年



しゃかいの本

ぼくはすしやで、タイラギという貝が気になりました。タイラギはいちばで見られると、すしやのたいしょうにおそわりました。いちばにいきたくなかったぼくは、あさ早く、たいしょうとでかけることにしました。

### 『おしゃべりなたまごやき』

寺村輝夫/作 長新太/画  
福音館書店 1972年



ものがたりの本

王さまが、ぎゅうづめになっているにわとりごやのかぎをあけると、にわとりがそとに出てしまいました。そうとはしらず、けらいがはんに人をさがしますが、王さまはだまっています。ところが、王さまがごはんにたまごをたべようとすると…。

### 『おともださにナリマ小』

たかどのほご/作 にしむらあつこ/絵  
フレーベル館 2005年



ものがたりの本

ある日、やまびこ小学校になぞのてがみがとどきました。てがみには「おともださにナリマ小。木三二、二田もノヨリ」とかいてあります。いったいだれからのてがみでしょうか？

### 『かさぶたくん』

やぎゅうげんいちろう/さく  
福音館書店 2000年

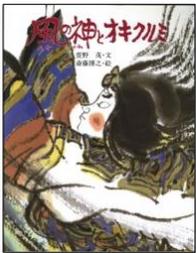


かがくの本

ころんだり、すりむいたりして、ちがでると、そのあとにかさぶたができます。かさぶたは、いったいなにできているとおもいますか？なぜ、かさぶたができるのかしていますか？かさぶたのことがわかるえほんです。

### 『風の神とオキクルミ』

萱野茂/文 斎藤博之/絵  
小峰書店 1999年



ものがたりの本

風の神さまのピカタカムイは、村人たちをおどかさうと、はげしい風をおこして村をこわしました。すると、ピカタカムイのいえに、あるわかものがやってきて、つめたい風とあつい風でばつをあたまました。アイヌみんぞくのおはなしです。

### 『かにむかし』

木下順二/文 清水崑/絵  
岩波書店 2006年

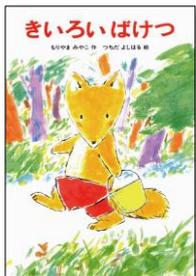


ものがたりの本

かにがそだてたかきに、みがりになりました。かきのみをとろうとしていると、やってきたさるにかきをたべられ、そのうえ青いみをぶつけられてしんでしまいました。子がにたちは、しかえしのために、なかまをあつめます。うまいくいでしょうか。

### 『きいろいばけつ』

もりやまみやこ/作 つちだよしはる/絵  
あかね書房 1985年



ものがたりの本

きつねの子が、ピカピカのきいろいばけつを見つけました。だれかのわすれものでしょうか。いっしゅうかんまって、だれもとりにこなければ、じぶんのばけつにしようときめました。さて、いっしゅうかんご、ばけつは…？

### 『きえた犬のえ』

マージョリー・W・シャーマット/ぶん  
マーク・シーモント/え 光吉夏弥/やく  
大日本図書 2014年



ものがたりの本

ぼくは、めいたんていネートです。ある日、ともだちのアニーがいた、犬のフアングのえがなくなっていました。犬のえはいったいどこにいったしまったのでしょうか。

### 『ごきげんなすてご』

いとうひろし/さく 徳間書店 1995年



ものがたりの本

おとうとができてから、おかあさんはあたしにやさしくしてくれません。そこであたしは、すてごになって、もっとすてきなうちにひろわれるのをまつことにしました。すると、ほかのどうぶつも、すてごになりたいとあつまってきました。

### 『これはのみのぴこ』

谷川俊太郎/作 和田誠/絵  
サンリード 1979年



ものがたりの本

「これは のみの ぴこ」「これは のみの ぴこの すんでいる ねこの ごえもん」。つぎに出てきたあきらくんはごえもんの…？ 出てくるみんながつながっていく、たのしいことばあそびのえほんです。こえに出してよみましょう。

### 『こんとあき』

林明子/さく 福音館書店 1989年



ものがたりの本

きつねのぬいぐるみのこんは、おばあちゃんにたのまれて、あきとずっといっしょにくらしています。こわれたこんのうでをなおしてもらうために、ふたりでおばあちゃんのをいかにむかいますが、とちゅうでこまったことがおきます。

### 『ジオジオのたんじょうび』

岸田衞/作 中谷千代子/絵  
あかね書房 1970年

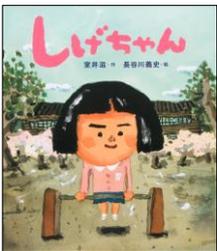


ものがたりの本

せかいでいちばんつよいライオン、ジオジオは、あまいおかしがだいすきです。ジオジオは70さいのたんじょうびのために、とくべつ大きくて、とくべつおいしい、木のみやくだものをたくさんつかったケーキをちゅうもんしました。

### 『しげちゃん』

室井滋/作 長谷川義史/絵  
金の星社 2011年



ものがたりの本

女の子のしげるは、男の子みたいなじぶんの名まえをかえたくて、おかあさんにたのみましたがだめでした。けれども、おかあさんは、なぜしげると名づけたのかおしえてくれます。名まえにはおやのねがいがこめられていました。

### 『重 力 っ て ……』

ジエイソン・チン/作 竹内薫/訳  
偕成社 2017年



かがくの本

重力は、どんなものにもはたらいている、ひっぱる力です。ひっぱる力のつよさは、おもさでかわります。重力がもしなかったら、ちきゅうはたいへんなことになってしまうのです。

### 『しょうたとなつとう』

星川ひろ子、星川治雄/写真・文  
小泉武夫/原案・監修 ポプラ社 2003年



しゃかいの本

なつとうぎらいのしょうたに、おじいちゃんがだいのそだてかたを見せます。土にまいた青だいがめを出して、大きくなるとえだまめになり、あきにはだいずになりました。それから、だいずの「とっておきのへんしん」がはじまります。

### 『世界のあいさつ』

長新太/さく 野村雅一/監修  
福音館書店 1989年



しゃかいの本

せかいには、いろいろなあいさつのしかたがあります。たとえば、インドの人があいさつをするときは、手をあわせて「ナマステ」といいます。みなさんも、日本とはちがうあいさつをさがすたびにでかけてみませんか？

### 『たんたのたんけん』

中川李枝子/さく 山脇百合子/え  
学研プラス 2021年



ものがたりの本

たんたのたんじょうびにふしぎなちずがとどきました。ゴールはジャングルです。たんたはたんけんに出かけることにしました。すると、ひょうの子バリヒがたんたのあとをずっとついてきます。たのしいたんけんのおはなしです。

### 『たんぽぽ』

平山和子/ぶん・え 北村四郎/監修  
福音館書店 1976年



かがくの本

このえほんは、みただけではわからないたんぽぽのひみつをおしえてくれます。ねっこや花のしくみ、ふゆのつめたいかぜからはっぱをまもるわざ、花がわたげにへんしんしてみをとばすしくみもわかります。

### 『ちいさいおうち』

バージニア・リー・バートン/ぶんとえ  
いしいもこ/やく 岩波書店 2019年



ものがたりの本

ちいさいおうちは、みどりがいっぱいのおかの上で、しあわせにくらしていました。ところが、いつのまにかどうろやビルにかこまれ、すっかりけしきが変わってしまいました。しょんぼりしているおうちのもとにやってきたのは…。

### 『時計づくりのジョニー』

エドワード・アーディゾーニ/作 あべきみこ/訳  
こぐま社 1998年



ものがたりの本

ジョニーはものをつくるのが大好きな男の子です。ある日、大どけいをつくろうとおもいつきました。みんなからは、できるはずがないとおもわれますが、ジョニーはあきらめません。さて、大どけいはできあがるのでしょうか。

### 『どこからきたの？おべんとう』

鈴木まもる/作・絵 金の星社 2020年



しゃかいの本

きょうはのはらでおえかきです。おひるになったので、おべんとうのふたをあけると、おにぎりに、たまごやき、アジフライ、ポテトサラダが入っています。「おいしそう！」「いただきまーす」。このおべんとう、どこからきたのでしょうか？ なぞときのたびにしゅっぱつします。

### 『なんみんってよばないで。』

ケイト・ミルナー/さく こでらあつこ/やく  
合同出版 2019年



しゃかいの本

おかあさんが「このまちを できいかなくっては ならないの」といいました。いますんでいるいえから、あんぜんなばしょまで、あるいてにげます。なにをもっていけばいいのでしょうか？ よそのくにのことがわかるのでしょうか？

### 『バナナのはなし』

伊沢尚子/文 及川賢治/絵  
福音館書店 2013年



かがくの本

きいろいバナナをれいぞうこに入れてみると…？ いっしゅうかんごにはくろくなりました。なぜでしょう。この本では、バナナがくろくなるりゅうや、どうやってそだつのかなど、バナナのひみつがわかります。

### 『バレエをおどりたかった馬』

H・ストルテンベルグ/作 菱木晃子/訳  
さとうあや/絵 福音館書店 1999年



ものがたりの本

いなかでくらしていたうまはある日、たびのバレエだんにであいます。そのおどりを見て、バレエが大好きになったうまは、バレエダンサーをめざすことにしました。うまは、じょうずにおどれなくてもあきらめず、ゆめにちょうせんします。

### 『<sup>ほん</sup>番ねずみのヤカちゃん』

リチャード・ウィルバー/さく 松岡享子/やく  
大社玲子/え 福音館書店 1992年



ものがたりの<sup>ほん</sup>本

ドドさんのいえにすむ子ねずみのヤカちゃんは、とてもこえが大きいので「やかましやのヤカちゃん」とよばれています。あるときヤカちゃんは、ドドさんにこえをきかれ、ねずみとりやねこをつかって、つかまえられるようになりますが…。

### 『1つぷのおこめ』

さんすうのむかしばなし』

デミ/作 さくまゆみこ/訳  
光村教育図書 2009年



かがくの<sup>ほん</sup>本

おこめがとれない年に、おこめをひとりじめして、人びとにわけようとしないうさまがいました。そこで、かしこい女の子ラーニが、王さまにあるおねがいをお願いします。さんすうをつかって人びとをたすけた女の子のおはなしです。

### 『<sup>ほん</sup>びゅんびゅんごまがまわったら』

宮川ひろ/作 林明子/絵  
童心社 1982年



ものがたりの<sup>ほん</sup>本

かえで小学校のあそびばに、かぎがかけられました。みんながこうちよう先生に、あけてほしいというと、先生はびゅんびゅんごまをとり出しました。こまをまわせたら、たのみをきいてくれるというのです。

### 『ふたりはともだち』

アーノルド・ローベル/作 三木卓/訳  
文化出版局 1972年



ものがたりの<sup>ほん</sup>本

おたがいのことが大すぎながまくんとかえるくんの5つのおはなしです。ある日、かえるくんはがまくんにおいてがみをかきましたが、がまくんのいえにはなかなかとどきません。どうしたのでしょうか。（「おてがみ」より）

### 『へいわってどんなこと?』

浜田桂子/作 童心社 2011年

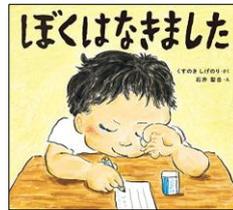


しゃかいの<sup>ほん</sup>本

この本には、へいわだとおもうたくさんのおぼめんが出てきます。たとえば、「せんそうをしない」ことや、「だれでもごはんがたべられる」ことです。みなさんは、どんなことだとこたえますか？ かんがえてみてください。

### 『ぼくはなきました』

くすのきしげのり/さく 石井聖岳/え  
東洋館出版社 2019年



ものがたりの<sup>ほん</sup>本

がっこうで「じぶんのいいところ」をかくことになりました。みんなのいいところは見つけられるのに、ぼくにはいいところがありません。そうたは先生にそういって、なきそうになりました。すると、先生は…。

### 『まほうのコップ』

藤田千枝/原案 川島敏生/写真  
長谷川摂子/文 福音館書店 2012年



かがくの<sup>ほん</sup>本

とうめいなガラスのコップに水を入れたら、まほうのコップのできあがりです。コップのうしろにいちごやフォークをおいて、まえから見ると、とてもふしぎなことがおこります。みなさんもためしてみましよう。

### 『みえるとかみえないとか』

ヨシタケシンスケ/さく 伊藤亜紗/そうだん  
アリス館 2018年



ものがたりの<sup>ほん</sup>本

ぼくはうちゅうひこうしです。ある日、うしろにも目がある人のほしにきました。そこで出あった、生まれつきぜんぶの目が見えない人は、ぼくとせいかいのかんじかたが、ぜんぜんちがいました。ヒントは「おと」「におい」「手ざわり」です。

### 『みしのたくかにと』

松岡享子/作 大社玲子/絵  
こぐま社 1998年



ものがたりの本

ふとつちよお婆さんは、にわにたねをまきました。なんのたねかわかりませんが、たのしみです。いたにあることばをかいて、たねのそばへ立てました。たねがめを出し大きくなったところ、王子さまがとおりかかり、そのことばをよみました。

### 『みずとはなんじゃ？』

かこさとし/作 鈴木まもる/絵  
小峰書店 2018年



かがくの本

かわいたみちにまいた水が、やがて見えなくなりました。どこへいったのでしょうか？ 人やどうぶつの中からの中にも、水があるってほんとうでしょうか？ いきものやちきゅうにとってだいじな、水のしくみがわかるえほんです。

### 『ものぐさトミー』

ペン・デュボア/文・絵 松岡享子/訳  
岩波書店 1977年



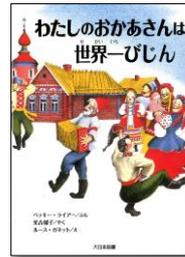
ものがたりの本

なまけもののトミーは、でんきじかけのいえにすんでいます。じぶんはなにもしなくても、きかいがからだをあらい、はをみがき、ごはんをたべさせてくれます。ある日、でんきがとまり、きかいがうごかなくなっていました。

### 『わたしのおかあさんは』

#### 『世界一びじん』

ベッキー・ライアー/ぶん 光吉郁子/やく  
ルース・ガネット/え 大日本図書 2010年



ものがたりの本

むぎかりのひ、まいごになったワリーヤは、おとうさんやおかあさんの名まえをきかれ、なきながらいいました。「わたしの おかあさんは、世界一 びじん！」。そこで、村中からびじんのおかあさんがよびあつめられました。



## そのほかのおすすめの本

ほん



### 『おおかみと七ひきのこやぎ グリム童話』

グリム/原作 フェリクス・ホフマン/え せたていじ/やく  
福音館書店 1967年

【ものがたりの本】

### 『チムとゆうかなせんちょうさん』

エドワード・アーディゾーニ/さく せたていじ/やく  
福音館書店 2001年

【ものがたりの本】

### 『どろんこぶた』

アーノルド・ローベル/作 岸田衞子/訳  
文化出版局 1971年

【ものがたりの本】

### 『歯いしゃのチュー先生』

ウィリアム・スタイグ/ぶんとえ うつみまお/やく  
評論社 1991年

【ものがたりの本】

### 『目でみることばのずかん』

おかべたかし/文 やまでたかし/写真 東京書籍 2016年

【しゃかいの本】

### 『りんごかもしれない』

ヨシタケシンスケ/作 ブロンズ新社 2013年

【ものがたりの本】

## いいね!の本だな ~小学校1・2年生編~



発行日 令和4年3月20日

編集・発行 **山梨県立図書館**

YAMANASHI PREFECTURAL LIBRARY

〒400-0024

甲府市北口2丁目8番1号

T E L 055-255-1040

F A X 055-255-1042

U R L <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

この冊子に関するお問い合わせ先

山梨県子ども読書支援センター（山梨県立図書館内）



- \* 当館ホームページ上からもこの冊子を見ることができます。
- \* 本冊子は個人的な目的に使用する以外で複写・転載することはお控えください。
- \* 学校（小・中・高・特別支援）でのプリントアウト・コピー・無料配布が可能です。（改変・切除はご遠慮ください。）